

第六十一回大磯西行祭献詠俳句(選者の部)

踏み込みて浜砂かたき西行忌

鍵和田 柚子先生

東海にある一庵や西行忌

本井 英先生

花散れば三十一文字よ西行歌

河野 薫先生

風に吹かれてしみじみと西行忌

遠藤 若狭男先生

高麗山の低きがうれし西行祭

今村 妙子先生

第六十一回大磯西行祭献詠短歌(選者の部)

饅頭に捏ねて遊びし春の土汚るることを楽しみとして

柳 宣宏先生

ブラインドの筋目を右から左へとかがやきながら寒の白雲

今井 恵子先生

スケボーの音が遠くにひびきをり寒ゆるるぶ夜の皆既月食

花山 多佳子先生